

学習時間 × 学習方法 = 学習効果
- 受験勉強の時間を確保するには -

開倫塾
塾長 林明夫

Q：このかけ算は何ですか。

A：学習効果は学習時間と学習方法のかけ算により決まるということです。

かけ算ですから、方法はよくても時間が足りなければ効果は上がりません。また、時間が多くても方法がまずければ学習効果は上がりません。

学習の効果を上げるには、時間を増やすことと、方法を工夫することが大事。このことを、このかけ算は表しています。

受験勉強にもこのかけ算はあてはまりますよ。

Q：え、本当ですか。どうすれば受験勉強の時間を確保できるか教えてください。

A：わかりました。受験生の生活に合わせていっしょに考えましょうね。夕方は、部活動だと思って夕食まで机に向かうことをおすすめします。

学校から帰って少し休んだら、夕食の時間まで1～2時間勉強。

楽しく夕食をとった後、また、1～2時間勉強。

気分転換もかねて入浴した後、床に就くまで1～2時間勉強。

これだけでも合計すれば、3～6時間の家庭学習時間が確保できます。

受験生でも、夜は10時までには床に就き、睡眠時間を十分確保して下さいね。

学校が休みの日には、学校の授業時間に合わせて自宅学習すると、学習時間が確保できますよ。

Q：気をつけた方がよいことは何ですか。

A：学習時間の絶対量を確保するために長く時間をかけていたことはできるだけ短くすることです。

長電話、長メール、長TV、長マンガ、長ファミコン、長ケンカ等々。長風呂の人はサッと入りましょう。

一番もったいないのは長時間悩むことです。いくら悩んでも成績は上がりません。悩む時間は1日8分までと決め、悩む時間があつたら机に向かいましょう。

Q：最後に一言どうぞ。

A：自分は受験生であるということを自覚して、受験生としての生活に徹して勉強時間を確保しましょうね。

以上